

芸術の森地区町内会連合会

広報

やませみ

第9号

平成9年10月15日

発行 芸術の森地区
町内会連合会
印刷 (株) 辻孔版社

人と自然に優しい文化推進の里

決定

芸術の森地区街づくりビジョン

芸術の森地区連合町内会の皆様には、常日頃から札幌市役所とりわけ南区のまちづくりに格別のご理解とご協力をいただいておりますことに、心からお礼申しあげます。札幌市では「二十一世紀を前に、将来を見通したまちづくりを進めるために今年度基本



南区長 藤田辰志

明日の南区を目指して

構想を策定し、次期長期総合計画の策定作業を本格化させることにしております。

南区としても、十年先、二十年先を見通した「南区まちづくりビジョン」を広く区民の皆さまのご意見をいただき策定していくこととしています。

この度、区全体のビジョン策定の基本となる「地区ビジョン」が、各地区的皆さまの手によりとりまとめられました。参加された関係者の皆さまに、心から敬意を表する次第です。

芸術の森地区では、

町内会関係者をはじめ、各種団体代表者や学識経験者などの皆さまで街づくり推進会議を設けられ、活発かつ真剣な論議が交わされたと承っております。もとより、芸術の森地区は、真駒内川や精進川の清流が流れ、石山緑地や札幌芸術の森、滝野すずらん丘陵公園などの緑あふれる環境にあります。

このような環境を生かしつつ、自然と暮らしが調和し、住民相互が支えあう、そのようなまちづくりをどう進めていくかということを、とともに研究してまいりたいと思います。

住んでよかったですと思える明日の南区のため、皆様のより一層のご指導、ご協力をお願ひ申し上げ、ごあいさついたします。

平成九年九月九日(火)午後六時三十分より、芸術の森地区会館で「芸術の森地区街づくり推進会議が開催され、街づくりビジョンが確定した。

当地区の将来像を刻む画期的なことである。

内容は、ビジョンを支える三つの視点・視点別の市民活動の

基本・ビジョン実現のための具体策・生活基盤の整備の四部で構成されている。総合的に焦点の明確さが欠けているとの指摘もあるが、一応の指針が示されたことは高く評価される。

推進会議は、伊藤議長が弔事

のため欠席し、星副議長が代行

して挨拶の後、高橋常任委員長

議を開始してから一年間、計十四回の会議を重ね、芸術の森地区街づくりビジョンが策定された。

「顔の見える地域」「個性を生かした地域づくり」が叫ばれ全国の自治体がこれに取り組んでいる。各地区的ビジョンを基にして南区のビジョンが誕生し、各区のビジョンを基に札幌市の市政が推進される、新しい試みである。

特集

14回の討議を重ねて

平成八年九月に芸術の森地区町内会連合会理事会で論議を開始してから一年間、計十四回の会議を重ね、芸術の森地区街づくりビジョンが策定された。

◆二十一世紀は「住民」の世紀であり、「地域」の世紀であると

昨年度改修工事が完了した精進川に魚が戻り、河鹿やザルガニが住みつき

蛍が飛び交い、子供たちが川に

集まり、自然を満喫することを

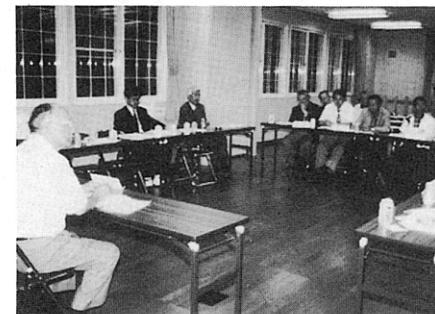
願つての会である。

◆駒岡地区の若い人達二十人が集まって「かじかクラブ」を結成した、ジャンケンで会長を選出し、初代会長に

門脇哲夫さんが就任した。

やませみの眼

◆駒岡地区の若い人達二十人が集まって「かじかクラブ」を結成した、ジャンケンで会長を選出し、初代会長に門脇哲夫さんが就任した。



◆精進川は現在でも自然の面影を残す懐かしい川である。改修により川幅が狭くなり直線化してしまった部分には大きな石を配置して淀み(魚が休み隠れる所)を作ることも考えているようである。

◆芸術の森地区街づくり推進会議が熱心な論議を重ねて「街づくりビジョン」を策定した。住民一人一人に理解され認知されることは、長い時間と周知の努力を要する。駒岡の「かじかクラブ」の皆さんの活動は、ビジョン「人と自然に優しい文化推進の里」を象徴している。

街づくりビジョン

II. ビジョン実現のための 条件整備

1. 森と川・美しい里

(1) 森

道・保健保安林（通称・桜山）に続くグリーンベルトを国営・滝野すずらん丘陵公園に結び、その中に散策路、休息所などを設けて、地域住民の健康増進を主目的とする「市民健康づくりの森」を造成することを求める。

地下鉄真駒内駅より道・保健保安林を経て滝野公園まで、途中のバス停と結び老人や子供に優しい森林浴コースを設けることを求める。

(2) 川

多自然型の河川改修を住民の参加の下に行い、河畔林を残し魚や鳥が棲息できる河川を甦らせることを求めていく。

イ 真駒内川の常盤一号橋～新常盤橋（二号橋）間の河川原風景は景観を保全し可能な限り人手の入らない原始の姿での保存を進めます。

ロ 精進川は、一部改修工事が終わっている地域では河畔林造成に努め、その他の区域については河川の原風景を保持することを求めていく。

(3) 美しい里

廃棄物の不法投棄を防ぎ森や川の美しさを守り、清潔ですがすがしさに満ちた「美しい里」の創造に努めます。

2. 文化

(1) 文化環境

イ 道路、公園、公共施設などを対象に、街並みの景観を芸術の森にふさわしいものに改修する。

ロ 生涯学習・芸術・文化・スポーツなどの活動拠点となる文化会館（図書館・郷土資料館・音楽室・アートホール等を備えた）及び体育館・グランド等を総合的に備え、子供から高齢者までが自由に使える文化ゾーンを造成し、芸術の森地区のシンボルゾーンとする

ことを求める。

ハ 現在石山・常盤・真駒内・滝野に別れている住居表示を統一することも地域住民の連帯を強める方策であります。その歴史と住民心情を尊重して当面は保留とし、ビジョンが具現され、「芸術の森」としての地域状況が醸し出された時に町名や街区名の統一を検討します。

(2) 文化活動

イ 文化活動の更なる推進のために文化団体の連絡協議会（仮称 文團協）を結成します。

ロ 札幌芸術の森の各種イベントに参加し、芸術活動を活発にし世界から評価される地域づくりを進めます。

3. 福祉

（1）福祉の町推進センターを充実させ、これを核にして各町内会ごとにその地に密着した福祉活動を推進します。

（2）ボランティア組織を育成し、その研修と実践進めます。

（3）石山八区の福祉諸施設との連携を深め、その拡充と発展を支援します。

（4）身よりのない高齢者や独居老人ための特別養護老人ホームの建設を求めていきます。

改修を強く求めていきます。

（2）芸術の森にふさわしい歩道の整備（タイル敷・芸術的街路灯・ロードパーク等を備えた）を求めていきます。

（3）地域の連絡路と交通の混雑を緩和するため石山八区～国道453号～駒岡～滝川・御料滝野線の連絡路の改良・敷設及び石山2号線の拡幅改良を強く求めていきます。

（4）地下鉄を当面石山陸橋まで延長することを求めていきます。

2. 安全・防犯

交通事故と犯罪を防止するため交番の設置を求めていきます。

3. 下水道

下水道の敷設は、多くの町内会から強い要望が出されています。これについても関係機関に、早期敷設を求めていきます。

4. 廃棄物

美しい自然を汚す廃棄物不法投棄の取り締まり強化を求めていきます。



街づくり推進会議

常任委員会

馬場 宏氏

III. 生活基盤の整備

1. 道路

(1) 国道453号の整備

国道453号は道道から国道に変わったがその整備が遅れています。特に歩道の

IV. その他

ビジョン実現のための条件整備や生活基盤の整備については、今後更に地域で討議を重ね、意見を集約してその実現に努めます。

平成9年9月9日

札幌市南区

芸術の森地区街づくり推進会議

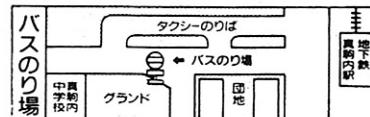
永久に生きる花と緑の明るい聖地

真駒内滝野霊園

札幌市許認可霊園

無料 見学・墓参バス運行中

時間 午前 10:00
午後 12:00
午後 2:00
※但し、毎週水曜日運休



お問い合わせ・
お申込みは 真駒内滝野霊園事務所 ☎(011)592-1223

ビジョン策定に当たり

私たちは、芸術の森地区すべての町内会で討議し、それぞれの意見を持ち寄り「街づくり推進会議」で検討・討論し、街づくりビジョンを策定しました。私たちは、このビジョンを具現するため、全員が力を合わせ、努力を続けます。

I. 主題を「人と自然に優しい文化推進の里」とします。

3つの視点

(自然) 機械場で製材された木材や御料林から伐採された木材、石山や真駒内川岸の軟石を送り出し札幌の建設に貢献した時代から、当地域は自然に恵まれ、自然を誇りにし緑を育て、豊かな自然を残してきました。

この偉大な財産を札幌市民とともに守り育てて後世に伝えます。

(文化) 「札幌芸術の森」は北の芸術文化を育むと共にそれを世界に発信する文化の拠点であります。更に、これに近接して札幌市立高等専門学校が設置され、将来芸術大学への夢をふくらませています。

当地域町内会連合会創立記念誌に「街を包む文化の薰り、叡智を集めて築く連町」と唱っています。

素晴らしい札幌芸術の森の静かな佇まいを生かし、優れた芸術作品や芸術的な構造物に囲まれた街を創造し、芸術文化活動を推進します。

(福祉) 緑の山並み、小鳥のさえずり、魚の群れる小川、美しい絵、そして耳を傾ける音楽等は人々の心に安らぎを与え、体に活力を与えます。

このような自然と文化の調和した環境のなかで、私たちは、優しい心を育て、助け合い慈しみあう街、お年寄りと子供そして困っている人に優しい街をつくります。

自然を守るために

古くから、真駒内川の清流と南東・南西にのびる里山の稜線そして国有林と続く「緑」が当地域の最大の特色でありました。

戦後、真駒内種畜場放牧用地の払い下げ、

全文紹介

芸術の森地区

外地からの引揚者や東京戦災者の入植開拓に伴い様々に変貌し、その後の乱開発（土砂採取等）で川は衰え、緑は減少しましたが、いまだに美しい自然が残されています。

一方都市化の波の到来により地域は変容し、現在は都市と自然の接点（グリーンフロント）に変化しています。

この両者つなぐ真駒内川と精進川の清流、そして広大な緑は、地域住民の誇りであり、地域の宝であります。更に、この「緑」は札幌市民の憩いの地、憧れの地となっています。

のことから、自然と都市の調和を求め、両者が共存する道を探ることが当地域最大の課題となっています。

国営滝野すずらん丘陵公園（略称・滝野公園）、札幌芸術の森、石山緑地等の公的施設によって緑のスペースは守られているが、それだけでは充分ではありません。

札幌市の誇る「環状夢のグリーンベルト構想」の中に「芸術の森地区緑地」として設定していただき、優れた緑・豊かな自然を享受し、貴重な遺産として後世に伝えると共に街路樹、公園森、公共施設緑化等を通して緑を愛し緑を育てる努力を続けます。

街づくり推進会議

議長

伊藤 正氏

動への参加は、優れた作品に触れ、秀でた指導者に接して触発されるものです。

芸術の森や札幌市立高等専門学校の優れた作品や秀でた指導者に接して自らの生活に潤いと安らぎを得ることは勿論のこと、グループや団体の文化・芸術活動を通して、潤いと安らぎが漲る地域を創りたいと思います。

その基本となる、芸術家の定住（点在型アートビレッジ）、芸術的な街路や街区の創造、住民のためのギャラリー、文化会館（合唱・舞踊・演劇等の練習と公開）等の設置を求めていきます。

街づくり推進会議

副議長

星 重男 氏

優しく包み、心温まる街をつくるために

現在、芸術の森地区には、石山八区に高齢者や身体障害者のための社会福祉施設・石山緑地に南老人福祉センター・駒岡に保養センター駒岡・石山東にもなみ学園があり、既に福祉活動が活発に進められています。

更に平成10年度より、住民の手による福祉活動の拠点「芸術の森地区福祉の街推進センター」が開設されようとしています。

特に石山八区の福祉施設は、更にこれを拡張し、充実させること（地区福祉ゾーン）が検討されていますが、これらの諸施設と地域住民が連携を深めて、理想的な福祉活動を開発することが求められています。

福祉活動の今日的な課題は、阪神淡路島大震災が残した教訓「助け合うコミュニティ」づくりであると言われます。豊かな自然と優れた文化・芸術を十二分に活用する地域活動を進めて「優しい心、労る心」を育て、それが町内会を中心とする福祉コミュニティ形成の原動力となるよう努めます。

文化・芸術の薰りを高めるために

平成7年4月1日、石山地区町内会連合会より分離して「芸術の森」地区町内会連合会が発足しました。その名称がこの地域のすべてを語っているように「芸術の森」を核にしたさらなる街づくりを進め、そこに住む住民相互の連帯と協調を深めることに努めます。

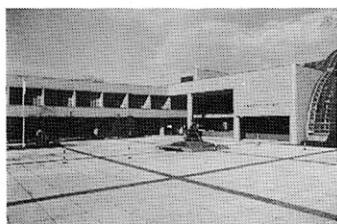
芸術や文化は人の心に安らぎを与え、優しさを育てる大切なことであり、芸術や文化活

駒岡

ふれあいとくつろぎの施設 札幌市保養センター

芸術の森地区町内会連合会の皆様に快適な憩いの場をお約束いたします。

社会福祉法人 札幌市福祉事業団 札幌市保養センター駒岡
札幌市南区真駒内600番地20 ☎583-8553



芸術の森地区街づくりプロジェクト策定の経過

連町理事会で準備会議

第二回準備会

○平成八年九月十一日
第四回理事会で佐々木前会長より概要説明を受ける。

○平成八年十一月十八日
芸術の森地区街づくり会議開催コンサルタント・道工業大学のオリエンテーションあり。

○平成八年十二月九日
第一回準備会

連町臨時理事会を開催、街づくり会議の基本構想及び組織・委員構成等について意見交換各単位町内会ごとに「二十一世紀芸術の森地区街づくり企画書」の作成を先行させ、この問題に関する当地区住民の意識を把握し、これを基礎に組織・委員構成等基本構想に取り組む事とした。

○平成九年二月二十四日

街づくり推進会議を結成

○平成九年六月十日

設立総会

芸術の森地区会館で「芸術の森地区街づくり推進会議」設立総会を開催、「設置要綱」及び「役員選出」について、原案通り決定した。

○平成九年六月二十四日

第一回常任委員会
芸術の森地区会館で開催、次の事項について討論した。尚、常任委員会に専門委員会を設置し、各単位町内会で策定した街づくり企画を基にして地区ビジョン案の作成を付託した。

一、街づくり推進会議の性格と討論内容

(1) 恒久組織である

専門委員会
高橋登(連町総務) 赤塚勝昭

(八区)・中村裕(駒岡) 川瀬真知子(コーラス) 馬場宏一・齊藤公博(子供会)
(民児委)・柴原信幸(昭和会)

(民児委)・柴原信幸(昭和会)
真知子(コーラス) 馬場宏一・齊藤公博(子供会)

専門委員会で素案づくり

○平成九年七月五日
第一回専門委員会

芸術の森地区会館で開催、次の通り決定した。

○平成九年八月十一日
第二回常任委員会

芸術の森地区会館で開催、専門委員会よりの答申(馬場委員長)がなされ、「自然保護」について私有権との競合や今後の活動方法について意見の交換があり次のとおり合議した。

一、専門委員長に馬場氏を選出し、自然保護の視点等について意見交換

三、馬場委員長が各単位町内会の「街づくり企画書」を、共通項目毎に一覧にまとめるための準備をし次回より討論と作業を開始することとした。

○平成九年七月十三日
第三回準備会

連町第二回理事会で「芸術の森地区街づくり推進会議」設置要綱・委員構成・役員構成の原案を連町総務部提案のとおり確定、設立総会を六月十日㈫に開催することを決定した。

○平成九年七月十九日㈯
第三回専門委員会

芸術の森地区会館で開催、各単位町内会の「街づくり企画書」を全員で項目ごとに分類する作業つた。

○平成九年七月十九日㈯
第三回専門委員会

芸術の森地区会館で開催、前回作成の分類を踏まえ次の通り合議した。

○平成九年七月十九日㈯
第三回専門委員会

芸術の森地区会館で開催、前回作成の分類を踏まえ次の通り合議した。

○平成九年七月十九日㈯
第三回専門委員会

芸術の森地区会館で開催、前回作成の分類を踏まえ次の通り合議した。

○平成九年七月十九日㈯
第三回専門委員会

芸術の森地区会館で開催、各単位町内会の「街づくり企画書」を全員で項目ごとに分類する作業つた。

第一回臨時会で慎重審議—ビジョン決定

○平成九年九月九日

街づくり推進会議 第一回臨時会

芸術の森地区会館で開催

議事の内容

一、議長挨拶(星副議長代行)

二、常任委員長提案説明

三、質疑応答

(1) 廃棄物の不法投棄をなくし地域を美しくすることが必要とする

思ふ空沼岳の清掃登山を続けよう。

さもなくなる。

山・川・街を美しくする住民運動も必要(追加することに

た経験から、美しくすると汚

さなくなる。

き成文化した案(専門委員長作成)を基に討論の結果次の各項

成)を付け加えて答申書を作成する

こととした。

一、町名変更の「理由」を書き込む

二、河川改修は「住民参加」を必須とする

(2) 札幌芸術の森まで地下鉄を延長を明記しては? (他地区と

開基百周年) 及び各単位町内会での論議の必要性から時期基にして常任委員長が「地区街づくりビジョン」の骨子を街づくり企画とし、それに関連する「条件整備」及び「生活基盤」の整備を含めて、修正案を作成する

会での論議の必要性から時期

早尚あるので修正する

上記の各点と過去の経過を

「自然」・「文化」・「福祉」として、それに関連する「条件整備」及び「生活基盤」の整備を含めて、修正案を作成する

会での論議の必要性から時期

朝夕の低温が身にしみるようになり紅葉の季節が到来しました。「秋」という季節感は人々それぞれに異なるでしょうが、明るいイメージで受け止め生活したいものです。収穫の秋、スポーツの秋、読書の秋とにかく前向きに生きたいものです。

▼芸術の森地区内の町内会は十

四町内会ありその集合団体連

町」がいろいろ地域住民に喜びや楽しみを提供しようと計画立

案実行していますが、八月三十

一日(日)連町運動会を催した

のもその一つでした。晴天に恵

まれ、各町内会とも優勝目指し

て頑張り有意義な一日となりま

した。競技者、応援、係員等合

せて五〇〇名程の参加者でした。

地域住民が五〇〇名も集まる事

は何度もあることはないのです

ですが、住民比率から考へ

と数パーセントでちょっととさ

しい気もしました。

▼前連町会長の佐々木佐一さん

が、連絡所にこられた方々に読

んでもらえればと蔵書の一部を

届けてくれました。早速書棚を

作製して玄関ホールに置き他の

人々の寄贈も呼びかけ、読書意

欲高揚の場を提供することにし

ました。気に入った本があつた

ら自由に読んでいただきます。

▼紅葉した川のほとりの小道を

散歩している老人カップル、ひ

とりばっちの老人、いや若者や

中年の男女、いつも見かける人

たちである。何か思索し乍ら歩

いている晴れた秋の日の光景で

ある。その中の一人、高橋徳造

さんは一句「ひつりと、落葉

を踏みて森の道、木漏れ日の中

野鳥とびゆく」とうたつた。